

【只見町】

2021 年度 只見ユネスコエコパーク活動支援補助金事業

「只見の仕事着文化継承～第1回ユッコギワークショップ～」を開催！

1月27日、ふるさと館田子倉にて合同会社メーデルリーフ主催で「只見の仕事着文化継承～第1回ユッコギワークショップ～」が開催されました。

このワークショップは只見ユネスコエコパーク活動支援補助金の採択を受けた事業であり、只見町に古くから受け継がれてきた仕事着であるユッコギ（下半身に着用する仕事着）を、次の世代に伝えていくことを目的とした取組です。

現代のように店がない時代は自分の体形に合わせたユッコギを自分で作っており、その作り方は母から子へ継承されてきました。それらの仕事着は農作業や日常生活で普通に使われていましたが、現在はユッコギを使う人は少なくなり、その継承も消えつつあります。

そんな中まず町内に眠っているユッコギを集めることから始まり、当日までに60本以上のユッコギや反物が集まりました。



第1回ワークショップでは、かつて使っていた方々を講師にユッコギの歴史や作り方、地区ごとに異なる方言などを学びました。物が貴重だった昔は、1年使ったら冬仕事としてユッコギを全てほどき、生地を裏返して縫い直して使っていたそうです。

必要なものは自分で作り、無駄なく使い切る、今では考えられない知恵でした。



▲昭和7年生まれの講師から様々な話を学ぶ



▲今も実際に使用しているの方の話を聞き参考に

その後参加者は実際に試着したり、今後も使い続けていくにはどうすれば良いのかを話し合いました。今後数回のワークショップを経て、只見の貴重なユッコギを伝承する取り組みを進めていくそうです。



▲前ヒモと後ろヒモを結ぶ順番など、機能的に作られたユッコギの着方を教えてもらう